

■太宰府東小学校の横の空地（環境美化センターの下）と高雄公園をつなぐための散策路新設を見直し、話し合いにより地域に分配される予算を有効利用させることを提案する陳情

1. 要旨

地域住民の高雄公園の利用向上を狙って作られる散策路は、高雄公園の利用向上のために今、優先されるべき公共工事なのか？高雄公園を利用するのなら、現在のアクセス道で東中の前を通る市道 1043 号坂口・裏高尾線をもっと安心して歩ける通りにした方が良いのではないのか？

散策路の工事費が市の予算の中から割り振られた、高雄公園周辺の地域に分配されるお金であるなら、どのような散策路が造られるのかをもっと地域住民に説明する必要があると思う。本市で策定が決まっている自治基本条例の趣旨に則り、さきがけた例として地域住民と市が話し合うことで、散策路新設にあてられた予算を有効利用することにつながるのではないかと思う。そのために散策路新設を一時見直しすることと、本市と地域住民との話し合いを要請する。

2. 理由

高雄公園が地域住民に利用されやすくなるよう作られる予定の散策路は、平成 26 年度に工事費 2,000 万円の予算がついている。しかし諸事情により工事は進んでいない。

工事費の予算はあくまで散策路を作るためだけの工事費であって、空き地の整備などの費用は入っていないと聞く。1メートル程の幅の散策路で外灯の設置などはない。では今後、散策路にたどりつくまでの空き地はどう利用していくのか、散策路の入口を示すサイン計画などがあるのか、等は不明である。

散策路の入口は管理者が開閉するという話は聞くが、今後小学生など小さい子どもも利用することが考えられる散策路の具体的な安全対策は見えてこない。

もう少し地域住民にわかるよう、散策路の新設について説明すべきと思う。

このままでは十分な説明もないまま出来あがった後で、市は地域住民による散策路の見守り活動を促し、小学生に公園の利用の仕方を諭すことになると思像される。

説明や話し合いによって計画が進められた方が、本当に必要な散策路なら地域に大切に活用され、散策路にあてられた予算も有効活用されることになると思う。

そして財政が困窮していると噂のある太宰府市だが、本当にそうであるなら、散策路新設という公園整備のために使える予算を現在の公園への主なアクセス道である市道 1043 号坂口・裏高尾線が安心してウォーキングができるよう

な整備に充てるべきではないのかも、地域住民と一緒に考えてほしい。

市民が安全に楽しく高雄公園まで往復できるよう、東校通りの街路樹を季節感のある美しい樹木に変える、T字路の学校用地をポケットパークにする、見通しが良いように茂り過ぎている緑地を定期的に伐採する、不法投棄のカメラがある緑地を「石楠花（シャクナゲ）の谷」にする、東中の正門前の田んぼや梅の木を楽しめる工夫、地域見守りカメラの設置・・・などに予算を充てることも考えてほしいと思う。

限られた予算の中で何が出来るのか、地域に必要なものを市と地域住民が一緒になって考える、それこそが「協働のまちづくり」で、これから策定される自治基本条例の趣旨と思う。地域に関わることは住民によって決定させた方が予算を有効に利用することにつながると思う。そのために、散策路の新設を一時停止して見直しをした方が良いと考えるため。

平成 27 年 5 月 22 日

太宰府市議会議長 殿